

令和8年度

東京都

# 緑のボランティア 指導者育成講座

## 受講者募集

### 専門講習 募集要項

各コース

10日間

+  
10時間の  
活動体験

#### 受講者の声

新しい視点で、  
雑木林の管理を  
楽しめそうです

自信が付き、  
意見が言えるよ  
うになりました

多くの方と意見  
交換ができ、  
有意義でした

この講座で仲間  
ができたことが  
1番の宝です



#### こんな方におすすめ！

- ✓ 緑のボランティア活動の  
レベルアップを目指したい方
- ✓ 各分野のエキスパートから  
専門的な知識を深く学びたい方
- ✓ 他の仲間との交流や、講師に  
活動に関する相談をしたい方

#### コース

自然観察・体験活動コース  
緑地保全活動コース  
(両コースへの応募も可)

#### 日程

令和8年6月6日(土)  
～令和9年2月6日(土)  
(各コース計10日間)  
(その他、活動体験10時間あり)

#### 受講料

各コース25,000円  
(両コース受講の場合は33,500円)  
(ECO-TOPプログラム修了者は、  
それぞれ5割を減額した金額)

#### 募集人数

各コース25名  
(応募者多数の場合抽選)

#### 募集期限

令和8年4月30日(木)まで  
(当日受信・消印有効)

#### 提出書類

- ・受講申込書
- ・顔写真
- ・修了者登録書  
(ECO-TOP修了者のみ)



主催：



東京都環境局



公益財団法人 東京都環境公社



# 1. 緑のボランティア指導者育成講座とは

自然観察や緑地保全などのボランティア活動等において、スキルアップやリーダーを目指す方のために、技術や指導法を学べる講座です。

## 2. 受講要件（専門講習）について

基礎講習を修了し、東京都二級緑のボランティア指導者に認定されている方が受講できます。

## 3. お申込方法

### ① 方法

メール または 郵送

### ② 提出書類

- ・受講申込書（第3号様式）
- ・顔写真（2.5cm×3.0cm・正面・無帽）
- ・修了者登録書（ECO-TOP修了者のみ）  
※メールでお申込みの場合はそれぞれデータを添付してください。

### ③ 受講料

- ・自然観察・体験活動コース      25,000円
- ・緑地保全活動コース              25,000円
- ・両コース受講                      33,500円

※ECO-TOPプログラム修了者は、それぞれ受講料の5割を減額した金額  
※受講料納入後の返還はできません。

### ④ 募集期限

令和8年4月30日(木)まで（当日受信・消印有効）

### ⑤ 申込後の流れ

- ✓申込後、受講要件を確認のうえ、受講者を決定いたします。  
募集人数を超えたときは抽選を行います。
- ✓受講決定者には、決定通知書と併せて納入通知書を郵送しますので、指定の期日までに受講料を納付してください。

## 4. お申込み・お問合せ先

### 申込先

公益財団法人東京都環境公社 東京都生物多様性推進センター  
緑のボランティア指導者育成講座事務局

### 連絡先

**住所** 〒190-0012  
東京都立川市曙町1-22-17 アーバンセンター立川4階

**メール** [tmcb-seminar@tokyokankyo.jp](mailto:tmcb-seminar@tokyokankyo.jp)

**TEL** 042-595-8831

## 5. 専門講習 全日程一覧（予定）

※日程や場所、講師等は変更になることがあります

日程	コース区分	科目	時間	形態	講師 (敬称略)	場所
6月6日(土)	共通	専門講習ガイダンス	10:00-12:00 (2)	講義 	(公財)東京都環境公社 東京都生物多様性推進センター職員	23区内 会議室
		保全活動の進め方・自然 学習プログラムの作り方 ～PDCAサイクルで活動 のバージョンアップ～	13:00-16:00 (3)		NPO法人生態教育センター 理事長 小河原孝生 認定NPO法人生態工房 理事長 片岡友美 NPO法人自然環境アカデミー 代表理事 野村亮	
6月13日(土)	共通	里山の保全管理手法	10:00-12:00 (2)	講義 	東京農業大学農学部生物資源開発学科 教授 山田晋	23区内 会議室
		水辺の保全管理手法	13:00-15:00 (2)		認定NPO法人生態工房 理事長 片岡友美	
7月4日(土) 予備日:7月5日(日)	共通	里山の自然と東京の絶滅 危惧種を守る	10:00-16:00 (5)	実習 	東京都環境局 自然環境部 生物多様性専門課長 内山香	図師小野路 歴史環境 保全地域
7月11日(土) 予備日:7月12日(日)	共通	外来種の防除と普及啓発 の実践	10:00-16:00 (5)	実習 	認定NPO法人生態工房 理事長 片岡友美	石神井公園
8月8日(土)	共通	行政との協働	10:00-12:00 (2)	講義 	NPO法人ナチュラルリングトラスト 副代表兼事務局長 小出仁志	23区内 会議室
		安全管理・安全対策	13:00-17:00 (4)		NPO法人国際自然大学校 理事 佐藤繁一	
9月26日(土) 予備日:9月27日(日)	自然	自然観察体験活動の 企画・運営	10:00-16:00 (5)	実習 	有限会社ビーネイチャー 代表取締役 森雅浩	神代 植物公園
10月24日(土) 予備日:10月25日(日)	緑地	緑地保全活動の実践	10:00-17:00 (6)	実習 	認定NPO法人自然環境復元協会 理事長 島村雅英	八王子長房 緑地保全地域
10月31日(土) 予備日:11月1日(日)	共通	東京の保全地域を守る ～課題と対策～	10:00-16:00 (5)	実習 	NPO法人生態教育センター 理事長 小河原孝生 認定NPO法人生態工房 理事長 片岡友美 NPO法人自然環境アカデミー 代表理事 野村亮	八王子 滝山里山 保全地域  戸吹緑地 保全地域
11月7日(土) 予備日:11月8日(日)	自然	コミュニケーション技術・ 参加者への伝え方	10:00-17:00 (6)	実習 	(一社)日本インタープリテーション協会 代表理事 古瀬浩史	石神井公園
11月21日(土) 予備日:11月22日(日)	自然	自然観察体験活動の 実践(こども向け)	10:00-17:00 (6)	実習 	NPO法人ホールアース自然学校 理事 小野比呂志	長池公園
12月5日(土) 予備日:12月6日(日)	緑地	湿地の保全管理と 外来種駆除	10:00-17:00 (6)	実習 	認定NPO法人生態工房 理事長 片岡友美	石神井公園
1月9日(土) 予備日:1月10日(日)	緑地	企業や学校との 体験活動	10:00-16:00 (5)	実習 	(一財)セブン-イレブン記念財団 高尾の森自然学校 副代表 小野弘人	高尾の森 自然学校
2月6日(土)	共通	活動体験の報告・ フォローアップ相談会	10:00-14:00 (3)	講義 	NPO法人生態教育センター 理事長 小河原孝生 認定NPO法人生態工房 理事長 片岡友美 NPO法人自然環境アカデミー 代表理事 野村亮	23区内 会議室
		修了試験ほか	14:00-16:00		-	

※このほか、10時間の活動体験があります。詳しくは4ページをご覧ください。

## 6. 各科目の内容

共通科目

自然観察・体験活動

緑地保全活動

### 専門講習ガイダンス（6/6）

講座の概要や「東京都一級緑のボランティア指導者」の認定までの流れを説明します。また、東京都の保全地域について、その位置づけや東京都で実施している取組について学びます。

### 保全活動の進め方・自然学習プログラムの作り方（6/6）

緑のボランティア活動において、企画立案や運営ができる人材の育成のため、担当講師が、その手法やポイントについて解説します。また、受講者同士の交流の機会として、自己紹介や意見交換を行い、コミュニケーションを図ります。

### 里山の保安全管理手法（6/13）

丘陵地が育む谷戸や里山における植生管理と、それによって育まれてきた生物多様性について紹介します。そして、いったん管理放棄された環境をかつての姿に戻す活動の意義や、活動を実施するにあたっての配慮事項を学びます。

### 水辺の保安全管理手法（6/13）

条件付特定外来生物アカミミガメ・アメリカザリガニや、園芸スイレン等の外来種防除を紹介するほか、「かいぼり」による定期的な攪乱を起こして水辺を守る仕組みと実践例をお話します。

### 里山の自然と東京の絶滅危惧種を守る（7/4）※予備日7/5

保全地域内を歩きながら、丘陵地の代表地形である谷戸環境と生物多様性について学びます。さらに谷戸田、ため池、細流、草地等の現状やそれらの地域伝来の農的 management 手法について解説します。また、水田の草取りや畦畔の草刈り体験等を通じ、定期的な管理の重要性等について学びを深めます。

### 外来種の防除と普及啓発の実践（7/11）※予備日7/12

条件付特定外来生物アカミミガメ・アメリカザリガニの捕獲と、園芸スイレンやキシノウエなどの外来植物の駆除状況を見学します。また、園内でパネルや水槽展示を行い、来園者に向けて外来種問題の解説等を体験します。

### 行政との協働（8/8）

協働の前提となる「協力」パターンと相利関係の認識を深め、協働が必要となった背景と「行政・企業・市民団体」各々の特徴を知り、協働における7つの原則を理解するとともに、協働のメリットと課題について考えます。

### 安全管理・安全対策（8/8）

基礎講習で学んだ知識を土台に、自然体験活動における安全を「設計・判断・チーム」で実現する力を養います。運営・企画・参加者それぞれの立場から安全管理を学ぶ専門科目です。

### 東京の保全地域を守る（10/31）※予備日11/1

活動団体によるきめ細やかな管理がされている八王子滝山里山保全地域と、活動団体が不在である戸吹緑地保全地域を比較し、課題や解決策について考え、学びを深めます。

### 活動体験の報告・フォローアップ相談会（2/6）

講座や各自で体験した活動について、内容や成果、意見について発表し、受講者同士で気づきやその感想について共有します。その後、これまでの活動を振り返り、その課題や困っていること等について、各講師と相談の機会を設けます。

### 自然観察体験活動の企画・運営（9/26）※予備日9/27

企画の立て方の基本を学び、実際に神代植物公園の要素を活用した企画をつくってみます。また、運営に関する日頃の課題を出し合い、解決策を探ります。全編、参加型のワークショップスタイルで進めます。

### コミュニケーション技術・参加者への伝え方（11/7）※予備日11/8

「インタープリテーション」は保全地域やミュージアムなどにおける教育的なコミュニケーションです。保全や解説の対象となる生物等の自然資源の意味や価値をコミュニケーションを通じて共有するための手法を学びます。

### 自然観察体験活動の実践（こども向け）（11/21）※予備日11/22

こどもが主役となり夢中になる体験の作り方を学びます。講師の実演とその気づきからの学びをもとに、受講者にも実践機会があり、すぐに現場で役立つコツを持ち帰ることができます。

### 緑地保全活動の実践（10/24）※予備日10/25

緑地保全活動における管理活動、安全管理において作業リーダーとしてどのような役割が必要でしょうか。本科目では、緑地保全活動のポイント、活動企画、1日の活動計画づくり、当日の活動と安全管理についてのポイントを学びます。

### 湿地の保安全管理と外来種駆除（12/5）※予備日12/6

浅場や池畔に繁茂した抽水植物等の刈り払いや外来植物の駆除を行います。また水辺の乾燥化した場所で土を掘って湿地を再生したり、流路を造って湿地を広げたりします。

### 企業や学校との体験活動（1/9）※予備日1/10

東京都との協働事業で行っている「高尾の森自然学校」にて、実際の森林整備体験活動や企業・学校との協働事例を通して、成功事例などを学びます。協働におけるヒントなどを知り、ワークショップでは自団体の課題解決と一緒に考えます。

## 7. 各団体における活動体験について

### ① 概要

実施要綱で規定する講座時間数(60時間)のうち、10時間分を指定する団体の活動に参加し、活動を体験していただきます。

### ② 希望メニューの選択

各コースで活動体験ができるメニューは下記のとおりです。

緑地保全活動コースは「里山保全活動」又は「水辺再生・外来種防除」より選択いただきます。詳細は、初回講座で説明します。

### 自然観察・体験活動コース

#### 「自然学習実習」

活動団体	NPO法人生態教育センター		
概要	来園者に自然解説を行い、自然学習プログラムを展開します。 【活動内容(予定)】 プログラムの計画・自然解説実習・振り返りと評価・今後への展開 ほか		
活動場所	都立葛西臨海公園鳥類園・世田谷区立桜丘すみれば自然庭園のいずれか		
活動期間	令和8年6月～12月(7、8月を除く・予定)	受入れ可能人数	各回1～3名

### 緑地保全活動コース

※選択制(受講申込受付後、事務局より希望を伺います。)

#### 「里山保全活動」

活動団体	NPO法人自然環境アカデミー		
概要	八王子滝山里山保全地域で、里山の保全活動の取組を行います。 【活動内容(予定)】 田んぼの管理、草刈り、稲刈り・木道、水路の整備・伐木 ほか		
活動場所	八王子滝山里山保全地域		
活動期間	令和8年6月～令和9年1月(予定)	受入れ可能人数	各回10名

#### 「水辺再生・外来種防除」

活動団体	認定NPO法人生態工房		
概要	池畔や水域を対象とした、水辺の保全や再生の取組を行います。 【活動内容(予定)】 ヨシやガマ等の抽水植物の刈り取り・園芸スイレンの駆除・条件付特定外来生物アメリカザリガニ、アカミミガメ等の防除・移行帯や浅場(湿地と陸地の中間体)の整備 ほか		
活動場所	都立石神井公園・都立光が丘公園・都立井の頭恩賜公園のいずれか		
活動期間	令和8年6月～令和9年1月(予定)	受入れ可能人数	各回20名

## 8. 修了要件について

規定時間数(講座50時間+活動体験10時間=計60時間)の8割以上を受講した方を講習修了者とします。

※未修了の方が次回以降、再度受講する場合は、既修科目を含め全ての科目を受講していただく必要がありますのでご注意ください。

## 9. 修了試験について

最終回に、これまで学んだことに関する修了試験を実施します。修了試験は講習修了者のみ受験可能です。試験時間は、1コース受講者は60分、両コース受講者は80分です。詳細は初回ガイダンスで説明します。

## 10. 東京都一級緑のボランティア指導者の認定について

### ① 概要

緑のボランティア活動を行う都民に対し、高度に専門的な指導、助言、継続的な企画の立案及び運営等ができる者として、東京都が認定します。

※活動に関して特別な資格や権限を付与するものではありません。

### ② 認定要件

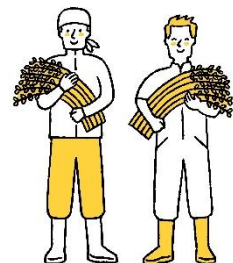
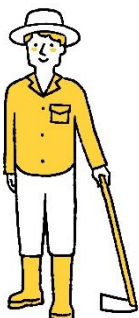
下記2つの要件を満たし、必要書類を提出いただくと、「東京都一級緑のボランティア指導者」に認定されます。

- 専門講習いずれかのコースを修了し、最終回で実施する修了試験に合格すること
- 書類提出日時点で、都内又は東京近郊での緑のボランティア活動の指導日数が、年間20日間以上あり、その実績期間が通算して3年以上あること

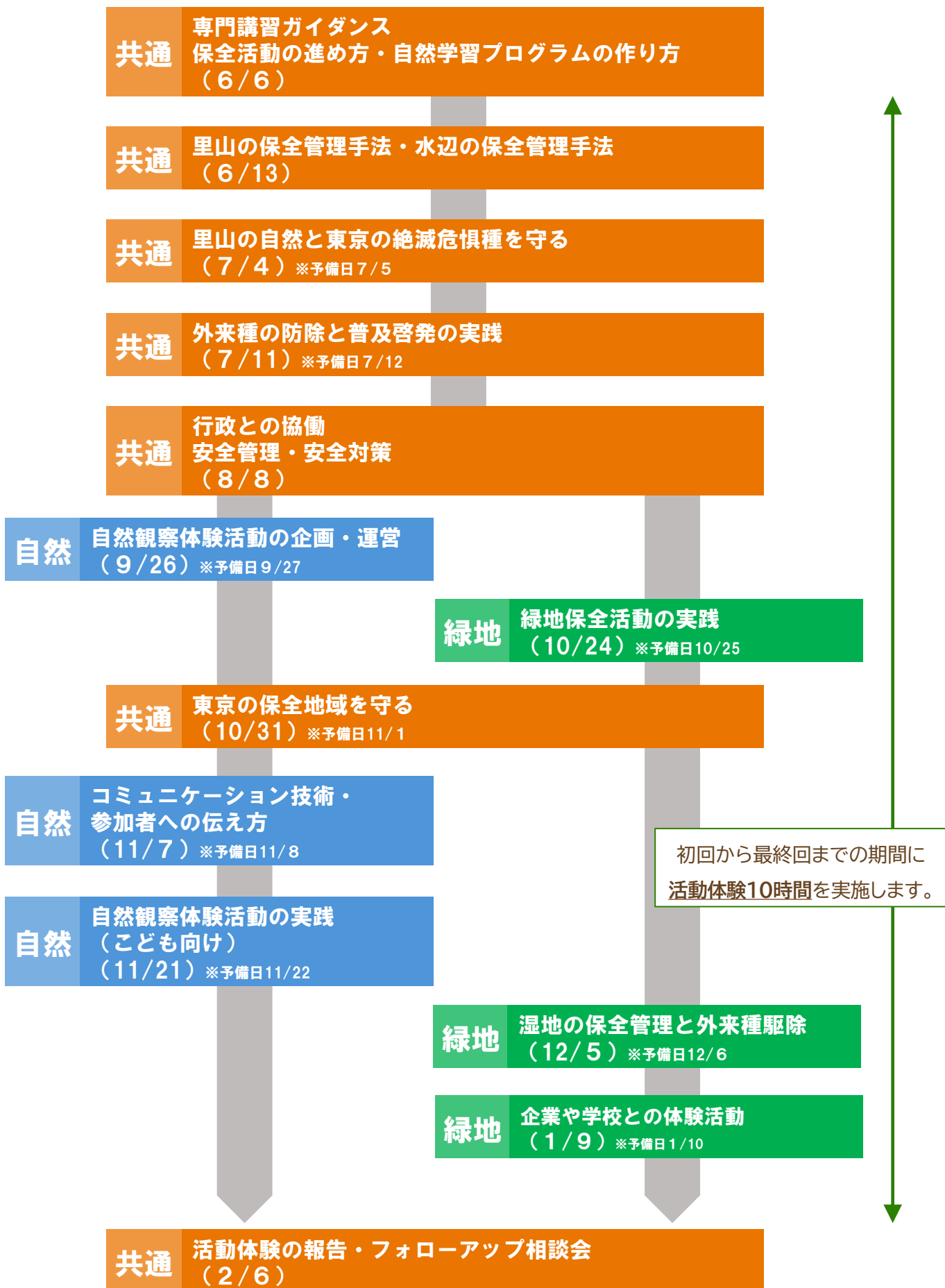
## 11. その他

本事業は、東京都が公益財団法人東京都環境公社に申込受付、調整等業務を委託して運営しています。

本事業に関し、いただいた個人情報 は東京都と東京都環境公社で共有いたします。



## (参考) 専門講習受講の流れ



### 修了試験

※講習修了者(講座50時間+活動体験10時間=計60時間の8割以上を受講した方)が対象